



今号の紙面から

三鷹市市税条例等の一部を改正しました ..... 2面

チェックリストを使ってブロック塀などの安全点検をお願いします ..... 3面

夏休み特集2018 ..... 4・5面

市からのお知らせ ..... 11面から

トップアスリートによるバレーボール教室 ..... 12面

## 自転車は車両です！ 市内で自転車関連の事故が多発しています！

昨年市内で発生した交通事故のうち、自転車に関する事故は全体の約5割を占め(図1)、発生件数は多摩地域でワースト4位となるなど事故が多発しています(図2)。自転車は環境に優しく、手軽で便利な乗り物ですが、ルールを「知らない」「守らない」乗り方は、危険な事故を引き起こします。

自転車は歩行者ではなく車の仲間です。車両の一種であることを自覚し、決められたルールを守り安全に走行しましょう。

☎道路交通課☎内線2883

図1 市内で発生した交通事故(人身)の件数(平成29年)

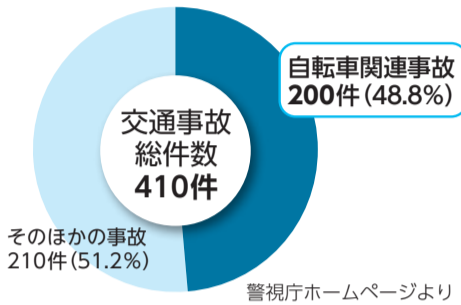
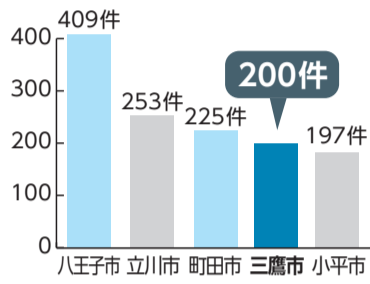


図2 都内市町村別自転車関与事故件数



警視庁ホームページより

警視庁「都内自転車の交通事故発生状況」より

こんな運転は「法律違反」です！

市内で実際に事故が起きています

傘差し運転 信号無視

携帯電話・スマートフォン 使用・保持運転

一時停止標識がある場所での一時不停止

今一度確認を！ 安全走行 Q & A

Q 車道を走るの？歩道を走るの？  
A 車道の左側を走るのが原則です(逆走はルール違反です)。ただし「自転車及び歩行者専用」の標識(右図)がある場合や、13歳未満または70歳以上の方、体に不自由がある方は歩道の車道寄りを徐行して通行することができます。

Q どの信号に従うの？  
A 車道を通る時は、車両用の信号に従って走行します。ただし「歩行者・自転車専用」とある歩行者用信号機がある場合は、こちらに従います。

Q 子どもと一緒に走行する場合は？  
A 子どもを先に走らせて安全を確認します。子どもが後ろの場合、急いで親を追うため、安全確認がおろそかになる危険があります。

### 三鷹市自転車安全講習会

正しいルールとマナーを身に付けましょう

講話や交通安全ビデオ、安全運転〇×(マルバツ)テストのほか、日常的にできる自転車の整備方法も紹介する同講習会を年6回開催しています。受講者には「自転車安全運転証」の交付と、市立駐輪場の空き待ち時の優先権が付与されるほか、TSマーク付帯保険(右記参照)の助成券(1,500円分)を配布しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。道路交通課☎内線2883へお問い合わせください。

### 事故に備えて TSマーク付帯保険

過去には約9,500万円の賠償請求も！

TSマークは、自転車安全整備店で自転車安全整備士による点検整備(有料)を受け、加入金(1,500円)を支払うと貼付される印です。このマークのある自転車には、有効期限内(貼付から1年間)の事故に対して、賠償責任補償(最大1億円)と傷害補償が付きまます。

山本有三記念館の展示室にて企画展「山本有三、作家の遍歴」のチラシを手に

市長のひとことコーナー

ケーブルテレビの広報番組「みる・みる・三鷹」では「市長のひとことコーナー」を放送しています(放送時間は12面参照)。

7月6日から8日まで、11府県に大雨の特別警報が発令され、甚大な被害が発生しています。三鷹市は岡山県倉敷市の伊東香織市長の要請を受けて、9日午前11時、アルファ米、粉ミルクを支援物資として倉敷市の真備総合公園まで届けました。皆様と共に犠牲者に哀悼の意を表しますとともに、三鷹市は今後も被災地の支援をしていきたいと思っております。さて、下連雀にある三鷹市山本有三記念館は、平成30(2018)年4月にリニューアルオープンしました。同記念館は、山本有三が昭和11(1936)年から昭和21(1946)年まで家族と共に住んだ大正時代に建てられた洋館です。山本有三は、ここで多くの作品を書き残すとともに、「ミタカ少年国民文庫」を開設し、自らの蔵書を利用して、子どもたちに豊かな読書環境を提供してきた作家です。

この洋館は、戦後東京都に寄贈された後、都立教育研究所が「三鷹少年文庫」を開設し、昭和60(1985)年に三鷹市に移管されてからも「三鷹市三鷹少年文庫」として、子どもたちが多く集まる施設でした。

こうした経過を踏まえて、リニューアルオープン後の2階の展示室Eでは、子どもたちにも分かりやすく山本有三の足跡をパネルで展示するとともに、三鷹市立図書館と連携して、子どもたち向けの絵本や児童文学を置いています。また、長女の部屋だった1階の展示室Bでは、9月8日(土)に子どもたち向けの「おはなし会」が開催されます。

9月2日(日)までは、リニューアルオープン記念企画展として、明治・大正・昭和を生きた山本有三の作家としての取り組みを分かりやすく展示する企画展「山本有三、作家の遍歴」を催しています。珍しい自筆原稿や「君たちはどう生きるか」などの初版本も展示しています。山本有三の文学に近づくとともに、子どもたちを愛し、子どもたちのために自宅の一部と蔵書を開放した山本有三の子どもたちへの愛も感じていただければと思います。

猛暑が予報されているこの夏、三鷹市山本有三記念館の、木々と草花が涼やかに迎える庭園と大正時代の洋館で、どうぞ心豊かな時間をお過ごしください。

### 市長コラム

#### 山本有三と子どもたちの読書

三鷹市長 清原慶子